

大村発のプロジェクト 全国へ



CLOSE UP
大村人

「目標は、子どもの事故死を無くすこと。そう語るのは、本市の小児科医・出口貴美子さん。出口さんが中心となって平成23年に、のちに全国のモデルとなる「Love & Safety おおむら」子どもを事故から守るプロジェクト」を立ち上げました。

出口さんは、子どもの死亡要因が「不慮の事故」と説明されることに着目。科学的に原因を分析し、事故防止に取り組むことが重要だと考えました。出口さんの呼び掛けに対し、行政や警察、消防、教育機関、医療機関が連携。けがの情報を収集し、関係機関で共有できる体制を整えました。

出口さんの活動は、地域にも広がっています。イベントやセミナーの開催、事故マップの配布など、地道な活動を展開。子どもの事故に多い自転車事故や水難事故など、蓄積したデータを基に、学校や幼稚園、保育園、地域にも知らせています。「子どもの事故は予防できます。現状を知って、家庭や地域全体が理解を深め、かけがえない命を守っていかなければなりません。」と、出口さんは言葉に力を込めます。

3月には、同プロジェクトが全国に先駆けて養成してきた「子ども安全管理士」が誕生し、市内の施設に配置する予定です。「子どもの命を守るためには、預かる側の知識と能力が必要です。身に着けたノウハウを生かし、事故を減らす環境づくりに取り組んで、全国のモデルケースになれば。」と出口さん。大村発のプロジェクトが全国に広がっています。



Profile

でぐち・きみこ
出口小児科医院院長。
平成18年から地域医療に従事しながら、子どもの事故予防活動を開始。平成23年にLove&Safetyおおむらを設立。現在はNPO法人となり理事長に就任。平成24年には内閣総理大臣賞表彰、昨年では地方自治功労者総務大臣表彰を受賞。

Love&Safetyおおむら理事長

出口 貴美子さん



クローズアップ
大村人
vol.31

このコーナーは、ふるさとを思いながら、市内外で活躍する大村人、を紹介していきます。